

基地はいらない！どこにも！ 普天間基地は無条件即刻撤去 以外に解決策はない！

普天間の沖縄県内移設に舵——鳩山政権の裏切り——

昨日 26 日、北沢防衛相は沖縄県庁で仲井真知事と会談し、普天間基地の「移設先」として、(1) 名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブ陸上部に 500メートル級ヘリパッドを建設、(2) 米軍ホワイトビーチ（同県うるま市）沖合に人工島を建設、という沖縄県内で基地のたらい回しをする案を明らかにしました。また同時に、訓練や基地機能の一部を徳之島や馬毛島（鹿児島）など沖縄県外に移転する案も組み合わせる考えを示しました。



北沢防衛相は沖縄県庁で仲井真知事と会談。県内移設方針を説明した。(26日)

新基地建設反対、普天間の「国外、少なくとも県外」移設、を公約して誕生したはずの政権にあるまじき態度であり許しがたいものです。断固抗議します。沖縄県民の民意を踏みにじるのも、もういいかげんにすべきです。

各地で“怒りの” 反対決議・反対集会

沖縄で

政府のこのような動きに対して、沖縄県民は「首相は県民の思いを大切にすると繰り返し言った。その約束は何だったのか。あきれて物が言えない。」(稲嶺名護市長)と、怒りを爆発させています。1月に新基地建設反対の稲嶺新市長を誕生させた名護市の市議会は、キャンプ・シュワブ陸上案に対する反対決議と意見書を全会一致で可決しています。

米軍ホワイトビーチがある沖縄県うるま市でも、市議会が移設反対の意見書案を全会一致で可決、島袋うるま市長も反対を表明しています。25日には「うるま市民総決起大会」も開催され、「沖縄をもてあそぶ政治に抗議する」と反対決議を採択しました。4月25日には、10万人規模の沖縄県民大会が開催されようとしています。

鹿児島で

基地機能の一部を移転するとされている、鹿児島県も県議会が徳之島など県内への移設反対を決議し、伊藤知事も反対を表明しました。徳之島では地元3町議会が既に反対決議を上げていますが、28日には基地移設に反対する郡民大会を開催して全島をあげて改めて徳之島への移設反対をアピールする予定にしています。馬毛島についても、種子島1市3町議会がすでに反対決議を上げています。また、26日に「馬毛島への米軍基地の移転に反対する郡民集会」が催されました。(裏面に続き)

緊急署名にご協力をお願いします！

緊急署名 **沖縄の民意に添えてください**

辺野古への基地建設断念と普天間基地の無条件返還を求めます！

鳩山総理大臣宛に、緊急の署名行動が提起されています。以下の3項目を要請する署名です。是非ご協力をお願いします。

1. 今こそ、沖縄の民意を最優先してください。
2. 名護市辺野古への「移設計画」を断念してください。
3. 普天間基地の無条件返還を実現してください。

東京でも

3月12日から毎週連続で、緊急の首相官邸前行動が行われています。(昨日が3回目でした。)鳩山首相に直接、「県内移設反対」「沖縄の民意を踏みにじるな！」の声を市民がぶつけています。

神奈川に住む者としても 他人事ではありません

普天間問題で政府が示している態度は、米軍のためには基地の提供・強化を恒久的に行い、基地被害・基地負担に苦しむ基地周辺住民の声には聞く耳をもたず、そして、その負担を恒久的に押し付けようというものです。私たち神奈川の米軍基地を抱える街に住む者にとって、沖縄の事態は他人事ではありません。実際、米軍再編と称して神奈川の基地も強化・恒久化が確実に進められているのが実情です。私たちも、沖縄県民や普天間「移設」候補地に挙がっている地域の人々とともに、手を携えて、基地はいらない！の声を上げていきたいと思えます。



首相官邸前行動の様子
26日は150人が結集

政府は普天間の無条件即刻撤去を米国に要求せよ

政府は、5月末までに普天間問題を決着すると言っています。しかし、政府が目指す5月の決着は、基地のたらい回し以外のなにものでもない(そして普天間の返還すら危うい)、ということがもはや明白です。私たちは、これでは何の解決にもならないと考えます。

問題の解決のためには、まず、政府が民意を踏まえ、危険な普天間基地の無条件即刻撤去を米側に要求し、実現のために交渉にあたる必要があります。そして、これ以外に問題の解決策はないと訴えます。

現状のままでは、自民党政権時代の安保密約を暴いたはずの政権が、いったいどんな新たな密約をすることになるのかわかりません。私たちの“基地はいらない！どこにも！”の声を大きくして、政府に無条件即刻撤去のための対米交渉を迫っていきましょう！

(2010. 3. 27)